

CASBEE 新築[簡易版]

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(住宅型)有料老人ホーム 春風	階数	地上4F
建設地	福岡県北九州市門司区鳴竹一丁目	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、防火地域指定なし	平均居住人員	40人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年4月 予定	評価の実施日	2013年9月6日
敷地面積	1,291 m ²	作成者	田崎 傑
建築面積	600 m ²	確認日	
延床面積	2,257 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 85%
上記+ 以外のオンサイト手法: 85%
上記+ オフサイト手法: 85%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.2

LR のスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	省エネ性の高い機器の採用により環境負荷の低減に配慮する。 また、入居者の室内環境に配慮し快適性の向上を図る。	その他 特になし
Q1 室内環境	建築基準法規制対象外となる建築材料を採用し、良好な空気環境をつくる。 内装材も防菌、防かびに配慮したものを採用する。	Q3 室外環境(敷地内) 車の乗降可能なピロティを設け、利用者の快適性に配慮する。
LR1 エネルギー	共用部の空調設備は全てヒートポンプエアコン、居室は単独にルームエアコンを設置し、空調エリアを細く分けつことで省エネルギーを図れる空調設備とする。	LR3 敷地外環境 効率の良い設備を採用し、CO ₂ 排出の低減を図る。
Q2 サービス性能	全居室で居室面積を14㎡以上を確保し、空間にゆとりをもたせる。また、休憩・談話コーナー等の共有スペースにおいて室を細かく仕切らず連続性を持たせることで、家具配置や利用スタイルに自由度を与える計画とす	
LR2 資源・マテリアル	再生骨材の路盤材等リサイクル材を採用し資源の保護に配慮する。	

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい